

令和6年4月 日

市内歯科医療機関 各位

高齢者支援課長

在宅医療・介護連携推進事業 認知症部会に係る調査について（依頼）

日頃より、鎌ヶ谷市の高齢者福祉行政についてご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、在宅医療・介護連携推進事業として、医療と介護をつなぐ会が平成30年4月より発足し、広報・研修・認知症と3つの部会を設置して、医療と介護の連携の充実を図っているところです。

認知症部会では、“認知症になっても適切な医療と介護を受け、住み慣れた地域での暮らしが続けられる”地域を目標に活動しており、今年度は歯科医療を中心とした連携に努めて参りたく、専門的見識から指導・助言をいただきたいと考えております。

つきましては、別紙アンケートにおきまして、現状の歯科診療・院内での対応について可能な範囲でご回答をいただきたくご協力をお願い申し上げます。

記

- 1 アンケート 別紙のとおり
- 2 回答期限 令和6年5月15日（水）
- 3 回答方法 FAX 047-443-2233にて返信

鎌ヶ谷市役所 高齢者支援課
担当 阿部
電話 047-445-1384(直通)
FAX 047-443-2233

鎌ヶ谷市在宅医療・介護連携推進事業 認知症部会

歯科診療と介護との連携についてアンケート

1. 定期受診している患者さまの中で、認知機能が低下してきているのではないかと感じる方はいらっしゃいますか？

A. いる(全患者の 割程度) B. いない

2. 定期受診している患者さんの中に、以下の状態が見られた方は、いらっしゃいますか？

- 耳が遠いというだけではない聞き違いや、聞き漏らしが見受けられる
- 同じ事を何度も話したり、尋ねたりする
- 以前より、意思疎通に困難さを感じるようになってきた
- 以前より、理解力や判断力が衰えていると感じる
- 複雑な話(病状・治療方針の説明)を理解できているか不安・心配になる
- 以前より怒りっぽい部分や疑い深くなった部分がある様に感じる
- 「言った」「聞いてない」などのトラブルが生じるようになった
- 義歯を短期間で紛失し何度か作製している
- 義歯や口腔内の手入れ・保清が何度指導しても不十分な状態
- 保険証の返却や紛失トラブルがある
- 傘・靴の間違いトラブルがある
- 予約日を間違えたり、忘れるようになってきた
- 服装など身の回りに無頓着になった
- ドアの閉め忘れやトイレを流さずに出てくることのあるようだ
- 待合室で他患者とのトラブルが聞かれるようになった

ご多忙の中、最後まで目を通して頂き感謝申し上げます。アンケート結果については、後日、情報共有させて頂き、鎌ヶ谷市医療介護ネットに掲載いたします。

本アンケートは、「在宅医療介護連携推進事業」の中で「認知症の方が地域で医療・介護を適切に受けながら暮らし続けていくため」の支援を目的としています。

現在、当部会では、歯科を中心とした地域医療と介護の連携向上を目指しています。ご多忙のところご協力頂き誠にありがとうございます。

鎌ヶ谷市在宅医療・介護連携推進事業 医療と介護をつなぐ会 ～認知症部会～

FAX 047-443-2233 鎌ヶ谷市高齢者支援課
電話 047-445-1384 担当者：阿部